

磐田市産業振興計画

～魅力産業創造都市の実現に向けて～

磐田市

目 次

I	計画の概要	1
II	現状と課題	2
III	計画の構成	4
IV	施策の方向と主な取り組み	6
	基本目標1「まちなぎわいと交流を促進します！」	6
	基本目標2「ものづくり産業の競争力を確保します！」	8
	基本目標3「未来をひらく新たな産業を創出します！」	10
	基本目標4「次代を見据えた人材育成・確保を支援します！」	12
V	計画の推進体制	14

I 計画の概要

1 策定の趣旨

平成 28 年度末をもって、平成 24 年度からの産業振興計画の計画期間が終了します。

これまでの取り組みを活かすとともに、新たな 5 年を見据え、磐田市の産業の将来像である「魅力産業創造都市いわた」の実現に向けて、重点的に取り組む施策等を体系化した「磐田市産業振興計画」を策定します。

2 計画の位置付け

「第 2 次磐田市総合計画」（平成 29 年度～平成 38 年度）を上位計画とし、「磐田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成 27 年度～平成 31 年度）等関連計画を踏まえ、産業分野の施策に特化した計画として位置付けます。

<計画の対象分野>

- ・計画の対象となる業種は農業、林業、漁業、建設業を除く「産業全般」とします。
※ただし、例外として、農業を工業化する植物工場などの「次世代型農水産業」「農商工連携」「6 次産業化」に関するものについては対象とします。

3 計画の方針及び期間

(1) 計画の方針

- ・既存事業を基本として、新規事業への取り組みも重視し、実現可能な魅力ある計画とします。
- ・企業実態調査や企業訪問などから得られた情報・意見を大切にし、市内産業の実態にあった計画とします。
- ・産業界の現場の声、商工会議所や商工会の意見を伺い、磐田らしい計画とします。

(2) 計画の期間

- ・平成 29 年度～平成 33 年度（5 年間）
※計画の実効性と弾力性確保のため、毎年度ローリング方式による見直しをします。

II 現状と課題

基本目標及び施策の設定にあたり、計画の基礎調査である「磐田市企業実態調査」（平成27年度）の結果や統計データなどをもとに、市内産業の現状と課題を整理しました。

1 商業・サービス業

(1) 現状と課題

小売業では「経営者の高齢化」や「大型店や新業態店の影響」、卸売業では「販売先の業績不振」を課題にあげる事業所が目立ち、直近3年間の経営状況では、約7割の事業所で減収減益と回答しています。

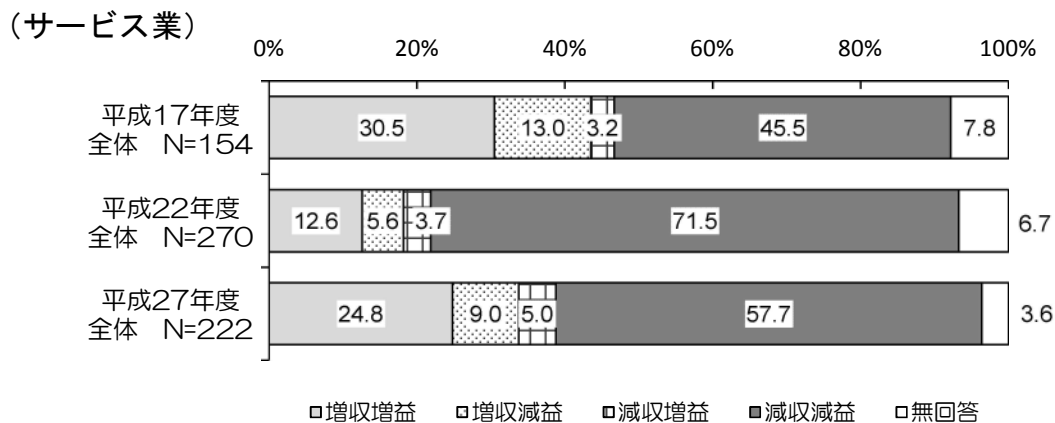
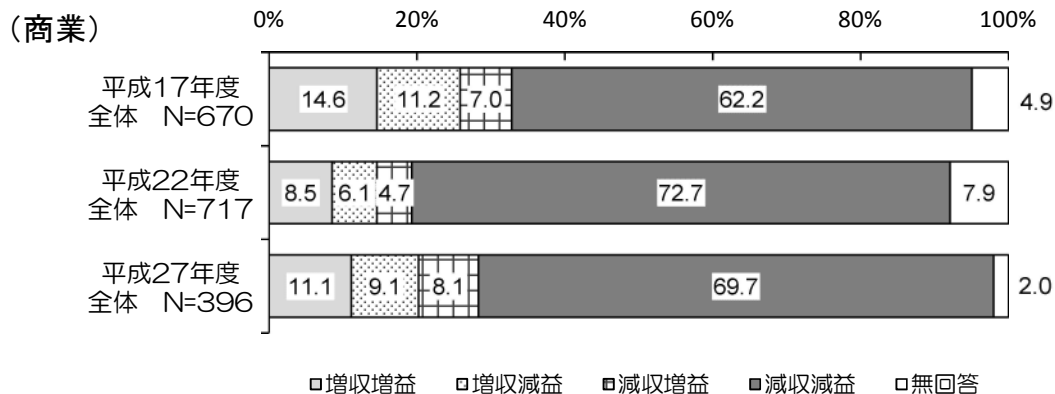
サービス業では、同業他社との「競争の激化」を課題にあげる事業所が目立ち、直近3年間の経営状況では、商業と比較すれば悪くないものの、約6割の事業所で減収減益と回答しています。

商店数、従業者数、年間商品販売額は、いずれも減少傾向にあります。郊外への大規模小売店舗の立地が進み、中心市街地における商業活動は停滞しています。

(2) 課題解決の方向性

個店の売上減、顧客離れに対しては、豊富な専門知識や技術を活かして、オリジナル、高品質な目玉商品・サービスづくり、他分野とのコラボレーションなど付加価値を高めていく必要があります。空き店舗の増加など、まちの活力低下が懸念される中、商業・サービス業の活性化を通じ、まちのにぎわいづくりを推進する取り組みが求められます。

■直近3年間の収益状況【経年比較】



2 工業

(1) 現状と課題

直近3年間の経営状況では、約5割の事業所が減収減益、一方、約2割の事業所が増収増益と回答しています。平成17年度、平成22年度の過去調査と比較すると、リーマンショック後の大きな落ち込みからは持ち直しが見られるものの、それ以前の水準にまでは回復していません。

今後も廃業などにより事業所数の減少が見込まれる中、「人材不足」を課題にあげる事業所が約3割と最も多く、中小企業等の固有技術を次世代に伝承していく必要性が高まっています。

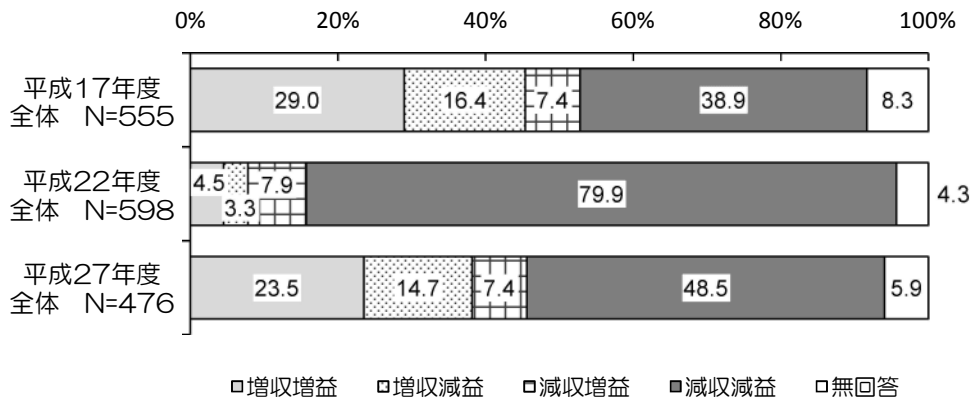
また、売上増を見込んでいる事業所の多くは、「優れた技術者の確保、人材の育成」の取り組みを重視していることが分かります。

事業所数は減少、従業員数は微増、製造品出荷額等は、横ばい傾向にあります。

(2) 課題解決の方向性

このような状況下で、輸送用機械器具製造業が地域経済をけん引している本市は、ものづくり産業の競争力を確保し、次代を見据えた人材の育成・確保につながる取り組みが求められます。一方で、バランスのとれた産業構造とするために、輸送用機械器具製造業に続く新たな柱となる産業を創出することが重要となります。

■直近3年間の収益状況【経年比較】

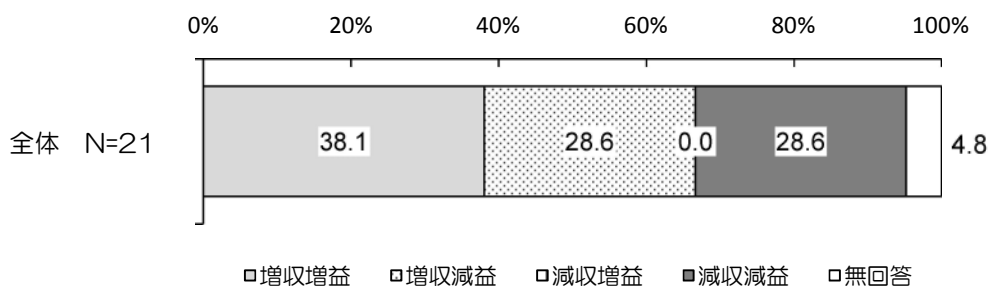


3 農業（参考）

企業の農業参入支援のために実施した、農業生産法人対象の参考調査において、直近3年間の経営状況では、約4割の事業所が増収増益と回答し、商業、サービス業、工業と比較して最も高い比率となっています。

また、市内には農業分野の教育機関や研究機関が立地するほか、遠州豊田PA周辺エリアに次世代型の農業を誘致するなど、農業を核とした産業の活性化が期待できます。

■直近3年間の収益状況



Ⅲ 計画の構成

1 基本目標及び重点施策の設定

- 産業振興計画では、将来像である「魅力産業創造都市いわた」の実現のため、本市の産業の現状と課題を踏まえ、4つの「基本目標」を設定します。
- 基本目標ごとに「基本的な方向」を示し、施策及び事業を展開します。また、今後5年間で重点的に推進する施策は「重点施策」として、「基本施策」と区別して記載します。重点施策については、効果を把握できるよう「数値目標」を設定します。

将来像
「魅力産業創造都市いわた」



【基本目標】

- 1 まちのにぎわいと交流を促進します！
(商業・サービス業・観光・交流)
- 2 ものづくり産業の競争力を確保します！
(工業)
- 3 未来をひらく新たな産業を創出します！
(企業立地・新産業・創業)
- 4 次代を見据えた人材育成・確保を支援します！
(人材・雇用)

2 計画体系表

計画の将来像、基本目標、施策の関係が一目で分かるよう、下表のとおり体系化します。

将来像	基本目標	施策	
魅力産業創造都市いわた	1 まちのにぎわいと交流を促進します！ (商業・サービス業・観光・交流)	1-1	スポーツを活かしたにぎわい創出 ☆
		1-2	まちの活性化とおもてなし環境の整備
		1-3	やる気ある個店等への支援
	2 ものづくり産業の競争力を確保します！ (工業)	2-1	クルマ・バイク産業の振興 ☆
		2-2	経営基盤の安定化と支援体制の強化
		2-3	ビジネスチャンスの創出
	3 未来をひらく新たな産業を創出します！ (企業立地・新産業・創業)	3-1	次世代型農水産業の推進 ☆
		3-2	企業立地の推進
		3-3	創業・起業の支援
	4 次代を見据えた人材育成・確保を支援します！ (人材・雇用)	4-1	産業を担う技術者等の育成 ☆
		4-2	就労の支援
		4-3	UIJ ターン就職の促進

(☆付きは重点施策)

IV 施策の方向と主な取り組み

基本目標 1

まちのにぎわいと交流を促進します！

基本的な方向

東京五輪、ラグビーワールドカップなど日本中がスポーツで盛り上がるチャンスを活かし、磐田市の大きな魅力である「スポーツ」を求心力に、全国、海外から人を呼び込みます。インバウンドを含めた観光客に対するおもてなし環境の整備や、まちのにぎわいづくり、やる気ある個人商店主の取り組みへの支援を通じて、交流人口の増加と商業・サービス業の活性化を図ります。

重点施策

施策 1-1 スポーツを活かしたにぎわい創出

スポーツ客へのおもてなし環境の整備やスポーツ大会・合宿の誘致などにより、地域のにぎわいを創出するとともに、スポーツを通じた商業・サービス業の活性化を図ります。

【既存】

- スポーツ資源のネットワーク化とおもてなし情報の発信強化
イベント・施設・団体・人材等のネットワーク化、スポーツ客への観光商品や食事、宿泊施設、スポーツ設備等の情報提供
- アウトドアスポーツを活用した市内回遊の推進
静岡遠州観光ネットワークと連携したサイクルツーリズムの推進、ウォーキングコースの整備

【新規】

- オリジナル商品・サービスづくりの支援（H29～）
商店主やスポーツ関連企業等と連携した名産品・グッズ（一店逸品）等の提供・販売の支援
- 全国規模の大会・イベントの誘致に伴う集客促進（H29～）
サッカーやサーフィン等のスポーツ大会開催時の誘客
- スポーツ合宿地誘致に向けたPR（H30～）
トレーニング環境や事前合宿地のPR

基本事業

数値目標と効果

観光交流客数：

現状（H27）357万人／年 ⇒目標値（H33）400万人／年

●商業・サービス業の売上増加

施策 1-2 まちの活性化とおもてなし環境の整備

基本事業

【既存】

- 磐田駅前楽市（軽トラ市）開催支援
軽トラ市の定期開催による中心市街地の活性化支援
- 商店街活性化事業・美化事業の支援
商店街団体等が実施する活性化事業・施設美化事業の支援
- 駅北広場等を活用したにぎわい創出の実施
市民との協働による定期的なイベント開催
- イメージキャラクターの活用
しっぺいを活用した観光情報の発信、企業と連携したキャラクターデザインの利用促進
- 「食」を活用したにぎわいづくり
観光客ニーズのある「食」に係る情報発信や旅行商品、イベントとのタイアップ
- 磐田市観光協会への支援と協働での観光PR
観光協会への支援と市・協会の連携による観光振興の推進

【新規】

- サービス業やオフィス業の誘致など商店街の活性化に対する支援（H29～）
商店会等が行う店舗等誘致への支援、民間主導のリノベーション^{※1}への支援
- 体験型観光を中心とする産業観光のPR（H29～）
観光資源を発掘・整理し、観光客ニーズの高い体験型観光（主に農業）の商品化
- 外国人観光客受入環境の整備（H30～）
外国語表記看板の設置や公衆通信環境などの整備、インターネットの多言語閲覧表記などの整備
- ボランティアガイドの育成と活動拡大（H30～）
各種研修への参加、学生ボランティアの参画などの取り組み推進

施策 1-3 やる気ある個店等への支援

基本事業

【既存】

- 磐田まちめぐりゼミナール事業
商店主が講師となるミニ講座の開催
- 若手商業者や新たな商店主組織への支援
若手商業者による市内広域的な組織による商業振興事業への支援
- コラボチャレンジショップ事業
既存商店を間借りし、参加者・商店主が協力して商売を実施

【新規】

- オリジナル商品・サービスづくりの支援（H29～）（再掲）
- 個店PR事業（H31～）
店主・団体等が行うお店（人・もの・技）のPR事業への支援

※1 改修等により既存不動産の付加価値を高める手法

ものづくり産業の競争力を確保します！

基本的な方向

地域の産業を支える中小企業等から産業界をリードする大手企業まで、磐田市のものづくり産業を担う企業を応援します。基幹産業であるクルマ・バイク産業の振興、販路開拓支援によるビジネスチャンスの創出など、がんばる企業を応援します。

重点施策

施策 2-1 クルマ・バイク産業の振興

クルマ・バイク産業の基盤技術の強化、販路開拓、新たな事業展開に向けた支援などにより、地域経済の安定化を図ります。

【既存】

- 「がんばる企業応援団」による企業のニーズ収集と支援
定期的な市内企業訪問によるニーズ収集と迅速な企業対応
- 新産業創出等を支援する機関との広域連携の推進
次世代自動車、新エネルギー、航空宇宙など新規分野参入に意欲のある企業が集い、イノベーションを促進
- 展示商談会へ出展する中小企業等への支援
国内外の展示商談会へ出展する費用の一部を補助
- 専門家派遣事業（磐田版おせっかいモデル事業）
中小企業等の経営課題解決に向けてコーディネーターなどの専門家を派遣し、徹底したサポートを実施

【新規】

- 広域ビジネスマッチング（H29～）
浜松地域イノベーション推進機構、静岡県産業振興財団、静岡県よろず支援拠点など支援機関等の広域ネットワークを活用したマッチング
- 中核企業のニーズ収集と支援（H30～）
RESAS（リーサス）^{※1}による地域経済をけん引する中核企業の把握とニーズ収集

基本事業

数値目標と効果

輸送用機械器具製造業の製造品出荷額等：

現状（H26）842,817百万円／年⇒目標値（H33）850,000百万円／年

●ものづくり産業の安定化

施策 2-2 経営基盤の安定化と支援体制の強化

基本事業

【既存】

- 融資・利子補給制度
経済変動対策貸付資金等に対する利子補給
- BCP 策定支援事業
静岡県や組合支援機関などと連携した BCP 策定等経営計画の支援
- 地場産業振興事業
ふるさと納税制度を活用した産地固有商品の販促、綿・麻など繊維製品の PR
- 「がんばる企業応援団」による企業のニーズ収集と支援（再掲）

【新規】

- 事業承継支援事業（H29～）
静岡県事業引き継ぎセンターと連携した後継者相談窓口の設置
- 産業支援スペースの整備検討（H29～）
産業に関する研究や情報収集のための相談・商談スペースなどの整備を検討
- 助成制度の充実（H30～）
企業の設備投資等を対象とした選考型の補助制度の構築

施策 2-3 ビジネスチャンスの創出

基本事業

【既存】

- 産業振興フェアの開催
広域・異業種交流による企業間連携の促進
- 国内バイヤー等との商談会の実施
首都圏バイヤー等との個別商談会の実施
- 展示商談会へ出展する中小企業等への支援（再掲）
- 専門家派遣事業（磐田版おせっかいモデル事業）（再掲）

【新規】

- 海外市場の販路開拓（H29～）
食の海外輸出に対する支援、海外姉妹都市（アメリカ・マウンテンビュー市）との産業交流の促進
- 広域ビジネスマッチング（H29～）（再掲）

※1 内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部）が提供する産業構造や人口動態、人の流れなどに関する官民のビッグデータを集約し、可視化する地域経済分析のためのシステム。一部情報を除き、ウェブ上で一般の利用も可能。

基本目標3

未来をひらく新たな産業を創出します！

基本的な方向

磐田市の産業が将来にわたり成長するために、企業が継続して操業を続けられるための側面支援や業種にこだわらない企業誘致を進めます。中でも、新しい農業ビジネスモデルの展開を支援し、輸送用機械器具製造業に続く新たな基幹産業を創出します。また、創業しやすい環境を整備し、ベンチャー企業など新たな産業の芽を育てます。

重点施策

施策 3-1 次世代型農水産業の推進

遠州豊田PA南側を新しい農業ビジネスモデルの拠点と位置づけ、次世代型農水産業の集積を図るとともに、このモデルを基点として製造業の新分野開拓や関連産業の創出など、輸送用機械器具製造業に続く新たな基幹産業を創出します。

【既存】

- 次世代型農水産業への参入支援
補助金や用地情報の提供など、次世代型農水産業への企業参入の環境づくり
- 次世代型農水産業の誘致
省力化技術、ICT技術を活用した次世代型農水産業の誘致
- 販路開拓・販売力の強化支援
農商工業者の連携のきっかけづくりや6次産業化の取り組みの強化

【新規】

- 農工連携の推進（H29～）
輸送用機械器具製造業で培った「ものづくり技術」の農業への応用（農業用ロボット開発など）

基本事業

数値目標と効果

次世代型農水産業への参入企業数：
現状（H27）1社 ⇒目標値（H33）5社（5年累計）
●雇用の創出 ●既存産業とのマッチング機会の増加

施策 3-2 企業立地の推進

基本事業

【既存】

- ワンストップサービスによる企業立地の推進
企業からの各種相談、要望への対応、事業用地情報などの提供
- 新産業創出等を支援する機関との広域連携の推進（再掲）

【新規】

- 新規立地・工場増設・設備投資への支援（H29～）
産業立地補助金の拡充
- 企業ニーズに沿った新たな工業用地の整備検討（H30～）
企業の進出や民間の工業用地整備の支援、産業用適地の具体化

施策 3-3 創業・起業の支援

基本事業

【既存】

- ワンストップ窓口の設置
ワンストップ窓口及び専門家による相談窓口、第二創業窓口の設置
- チャレンジサポーター磐田^{※1}を活用した支援
金融機関等と情報共有・連携し、創業段階に応じた支援を実施
- 女性起業家育成事業
起業を目指す、または起業後5年未満の女性対象の実践的な講座の開催

【新規】

- インキュベーション施設の設置（H29～）
ワークピア磐田と連携したコワーキングスペース^{※2}とレンタル型チャレンジショップの開設
- 起業ビジネス情報冊子作成事業（H29～）
起業後に必要な解決ポイントを集約した冊子の検討・作成
- 開業資金利子補給（H30～）
創業時の設備資金・運転資金の借り入れに対する利子補給の拡充

※1 市、商工会議所、商工会及び地域金融機関等で構成する創業支援のためのネットワーク

※2 オープンスペースを共有し、様々な業種・世代の人が集まって働ける場所

基本目標4

次代を見据えた人材育成・確保を支援します！

基本的な方向

中小企業等の重要な経営資源である人材の育成・確保について、長期的視野に立った支援を行います。特に、ものづくり産業を担う優れた技術者を育成する環境づくりを推進します。また、働きやすい環境づくりやU I J ターン就職の促進を通じて、次代を見据えた人材の確保に取り組みます。

重点施策

施策 4-1 産業を担う技術者等の育成

中小企業等の製造現場の技術者に対する実践的な知識と技能習得を支援するとともに、将来の職業人である小中学生や若者がものづくりに触れることのできる場を確保します。

【既存】

- 子ども技術者育成事業
 - ロボカップジュニア大会など小中学生のものづくり体験等の提供
- 人材育成推進事業
 - 支援機関との連携によるものづくり現場の技術習得のためのセミナー等の開催
 - 人材育成メニューや助成制度の紹介

【新規】

- 人材交流支援事業（H30～）
 - 支援機関や民間人材紹介会社などと連携し、海外技術者、大手企業等のOB人材と中小企業等とのマッチングを支援
- 職業訓練の仕組みづくり（ものづくり道場）の検討（H31～）
 - 既存の環境を活用した職業訓練の仕組みづくりを検討
- ものづくり系の人材育成機関の誘致（H33～）
 - 理工系教育機関の誘致

基本事業

数値目標と効果

人材育成メニュー受講者数（市委託事業）：
現状（H27）133人／年 ⇒ 目標値（H33）750人（5年累計）
●技術者等の知識・技能向上

施策 4-2 就労の支援

基本事業

【既存】

- 就労支援ネットワーク強化事業
市、労働局、ハローワーク、静岡県及びしずおかジョブステーションとの連携体制強化
- 職業総合相談
ワークピア磐田にて労働環境などの職業に関する相談業務を実施
- 勤労者向け協調融資制度貸付金
市内居住勤労者を対象とした、住宅の建設及び教育資金を静岡県労働金庫と連携し貸付
- 勤労者福祉サービスセンター支援事業
労働者の福利厚生事業を提供する勤労者福祉サービスセンターへ補助金を交付
- 就労・起業啓発事業
高校生を対象とした勤労啓発事業の強化、民間団体等が実施する子ども職業体験事業へ補助金を交付
- いわた就職フェアの開催
新卒者等を対象にした大規模な就職説明会の開催
- インターンシップ推進事業
企業のインターンシップ受入れ情報を集約・発信
- 障がい者、若者就労等支援事業
障がい者勤労支援、若者（ニート）就労支援、外国人向け日本語教室開催

【新規】

- 人材交流支援事業（H30～）（再掲）

施策 4-3 UIJ ターン就職の促進

基本事業

【既存】

- ワンストップ窓口の設置
磐田市魅力発信・住環境情報提供、学生と企業のマッチング支援
- 就職促進事業
市内企業見学会の開催、就職希望者・保護者向けセミナーの開催
- 人材確保支援事業
企業採用担当者を対象にPR 戦略セミナー、カフェミーティング等の開催
- 首都圏等での市内企業就職面接会の開催
関東・中京圏の学生と市内企業を結ぶ就職マッチングを実施
- インターンシップ推進事業（再掲）

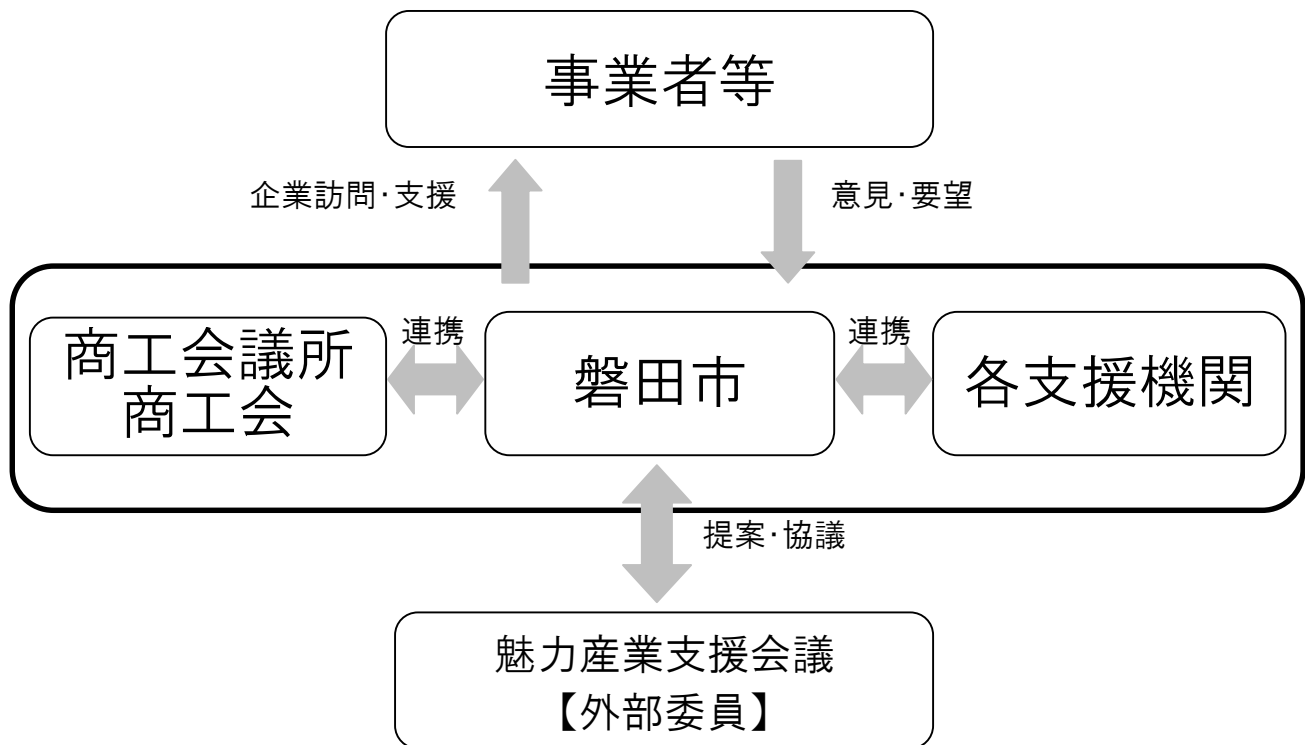
【新規】

- 中京圏就職サポートセンター設置・広域連携の検討（H29～）
県西部地域の就職情報発信拠点を中京圏に広域連携にて設置を検討

V 計画の推進体制

産業振興計画は、産業界、大学、金融機関及び支援機関などで構成する「磐田市魅力産業支援会議」の意見を伺いながら、策定、推進、評価及び見直しを行います。

また、市内外の関係機関との連携を積極的に図るとともに、スピード感を持って事業を実施していきます。



磐田市産業振興計画

平成 29 年 3 月発行

(平成 30 年 10 月一部改訂)

磐田市 産業部 産業政策課

〒438-8650 磐田市国府台 3-1

TEL : (0538)37-4904 FAX : (0538)37-5013

Mail : sangyo@city.iwata.lg.jp
